



マッキーの ドラッグ 大作戦!!

センターコンソールのダイヤルがアテサーエ-TSのコントローラー。そして、ステアリングの下に見えるトグルスイッチでウオーターインジェクションのON/OFFを操作する。

マインズGT-Rを敗り、ヒルクライムに続いて2連勝を飾ったトリアルGT-R。決勝戦で出した最終兵器とは、フロントの減衰力をそのままだに、リヤを4段階とし、さらに、リヤタイヤの空気圧を落とすとして、よりトラクションをかけるようにしたのだ。

そして、ゼロヨン本番では、アテサーエ-TSをコントロール。スタート時には、減衰力FIRの状態にしてスタート。これは、クラッチへの負担を軽くするための。そして、スタートと同時に通常の4WD状態まで戻す。

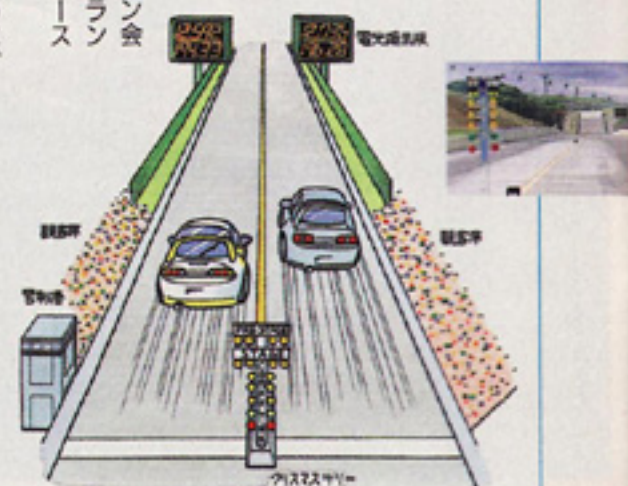
さらに、ウオーターインジェクションシステムを作動させて、充填効率を高めた。これらすべてがバッチリ決まっていたのだから、マッキーは、忙しいクルマやでえいとは、マッキー牧原談。

仙台ハイランド 日本ドラッグ レースウェイ

取材協力：仙台ハイランド
日本ドラッグレースウェイ
〒989-34 宮城県仙台市
青葉区新川早坂12
☎022-395-2120

今回、ステージ3のゼロヨン会場として使ったのは仙台ハイランド内にある、日本ドラッグレースウェイ。

ここは他のサーキットのように、ホームストレートを利用してゼロヨンを計測するのではなく、専用のコース。だから、施設は充実しているんだ。本格的なクリスマスツリー（シグナル）はモチロン、はるか400m先のゴール地点には、左右2カ所に電光掲示板が設置されている。この掲示板には、ゼロヨンのタイム、リアクションタイム（ツリーがブルーになってから実際にクルマが動きだすまでの反応タイム）の各数値が表示される。



これだけの設備を揃えていながら、1回1000円でオレ達が無事にチャレンジできるのもウレシイところ。計測後はデータをプリントアウトしてくれるゾ。

今回、ストリート3クラスでガレージ福井MR2が。そしてストリートFREEDクラスでトリアルGT-Rがそれぞれコースレコードを樹立している。どう、キミの愛車でこのタイムを塗り替えてみない!!

タイムは勝るも、勝負は負けた!

レイブススーブラ：5位決定戦で、タイムは14秒293。対するオオフィスは14秒318。が、400m地点の電光掲示板には、オオフィスの方に勝利を示すランプが点灯。リアクションタイムで、オオフィスが勝っていたのだ。がっかり肩を落とすレイブスの二セ斯波（斯波社長は、都合でゼロヨンはお休み、急きよ、代打の元木さんがドライブ）は、「社長に怒られるッスよー」と悲しげ。



シングルメタルに泣き鳴く! そして滑る

マインズGT-R：決勝戦はvsトリアルGT-R。ブーストを1.2kg/psiから1.4kg/psiに上げてのトライもクラッチが滑って敗れた。決勝後に「チューン内容としては軽いモノなのに、ここまでのタイムが出せたから立派ですよ。……本音を言えば、勝ちたかったー」と嘆く。



あまりの
ショックに、
未だにエンジン
開けられません

男エスプリ前川怒って ブースト1.7に…… その心意気にカンドー! でもエンジントラブル

エスプリ・シルビア：結果から先に言うと、エスプリシルビアはこのゼロヨンを最後にリタイアとなったのだ。ガレージ福井MR2との対戦後、4番シリンダーの圧の加減が弱くなってしまった。原因はこの対戦の時に、それまでのブースト1.5kg/psiからブースト1.7kg/psiに上げてトライ、オーバーレブしたことによる、ピストンリングのタナ落ちだろうとのこと。残念! でもクール前川、ヤル時はヤル。



ドッチが師弟!?対決

ブリッツ・セリカGT-FOUR：ついに同じセリカ同士が戦うことになったのが、5位決定戦のブリッツvsDai。スタートの時点で、Daiがフルマ1台分のリード。そのままでの態勢で400m地点を通過、ブリッツはタイムにしてコンマ91差で惜敗した。

絶妙のスタートに 酔った公爵向井

HKS関西ランエボ：連戦での熱ダレが出て、vsマインズ戦ではタイムを落とした公爵向井。「ノーマルタービンでは、この辺が限界でしょ」と、意外にサッパリした表情。スタートのテクは年季モノ。

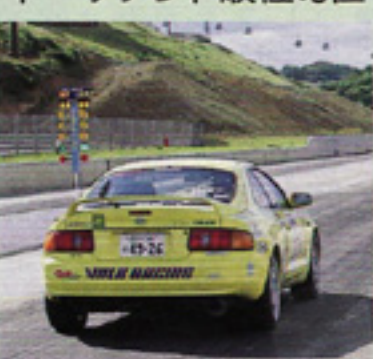


みんなゼロヨンは1台ごとのタイム計測と違って、1台ごとのタイムしか、タイムだけなら単純すぎる。ここはドラッグコースなので、クリスマスツリーでスタートするトナメント戦にしたわけ。スタート・テクの勝負もできるわけだ。

GT-R同士の戦いはヒルクライム同様に凄かったけど、一番楽しんだのはミッドシップを利用した福井のMR2だったね。やはり「ゼロヨンに賭けてた」だけのことは

精神のかけひきが 微妙に勝敗を 左右する トナメント方式 みんな、熱く なっちゃうんだよ

Daiセリカ
参考タイム：13秒624
トナメント順位：6位



あって、好タイムだった。ボクはもっぱらグリーンランプからスタートまでのリアクションタイムの勝負に賭けた。なんたって本場ドラッグのライセンス保持者だから負けるわけにはいかないのだ。

で、最高のコンマ7秒をマークした。2番手にHKS関西の公爵向井ランエボが入ったのはボクと同じく非力なのでスタートに賭けたわけで、さすが。



ゼロヨンと最高速が、
オウのキャンボール!
ねらい的中ですわー

ゼロヨンで イケれば、 それでイイ

ガレージ福井MR2：キャンボールが始まる前から、ゼロヨンと最高速で燃えると断言していた通り、ゼロヨンではGT-R勢に続く3位と速さを見せつけたガレージ福井MR2。3連6000rpmでパワーが落ちてきたが、多分、福井でのセッティングが仙台に合わなかったからだろう。

(特別参加) 読者代表戸部 剛
クン：地元のショップ、スタートレーシングのオリジナルCPや、ニスモタービン等使用でスペシャルチューンが施されたGT-Rを駆っての登場は、戸部剛クン（スタートレーシング）。スタートではDaiが1歩リードするものの、戸部クンのライトチューンドGT-Rがすぐに追いつくとそのまま、Daiに1秒以上の差を付けて12秒081でゴールラインを超えた、速い。Dai完敗!



Daiと読者の一騎討ち 上出来GT-Rに乾杯 で、Daiは完敗!